(2年 化学) 化学反射	前後の質量		No. !
)化学反応の前後で質量/	は変わらない法則 ()実験
$\widehat{\mathbb{Q}}$	容器に、うすい塩酸と炭	竣水素ナトリウムを 入	、れ、ふたをして質量をはかる
灰酸水系	容器を傾け、混ぜる。		
	質量をはかると①のときる	<u> </u>	۰
4	ふたをあけると、化学反応	芯で発生した	が逃げ、質量
化合する質量 化合する質量の割合は	いる。		
		份の重さをはかる。	
利 対 ス ス ス の の の の の の の の の の の の の	テンレス皿 ② 銅る	を加熱して	にする。
YI	3 で	きた	の質量をはかる。
	銅 +	→ 酸化銅 の反応	ぶがおきている。
2.0 酸化マグネシウム	銅が 0.4g のとき、酸化	銅が	g できる。
2.0 酸化マグネシウム 1.0 酸化銅	酸素が	g化合している	0
0 0.2 0.4 0.6 0.8 1.0 1.2 金属の質量(g)	化合する物質の質量比は 🏻 🕯	同:酸素:酸化銅 =	: : :
同様にマグネシウムでは マグネシウム + 酸素	→ 酸化マグネシウム	の反応がになる。	

例えば マグネシウム 0.3g を加熱すると、酸素は

g、酸化マグネシウムは gとなる。